

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第96号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年10月1日（金） 07時49分ごろ	
発生場所	熊本県天草市大浦港北西方沖 大浦港防波堤灯台から真方位315° 1, 300m付近 (概位 北緯32° 32.0′ 東経130° 21.8′)	
事故等調査の経過	平成22年10月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 モーターボート ^{こうあん} 光安丸、2.18トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 293-37054熊本、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、二級小型船舶操縦士</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船底外板擦過傷、プロペラ及び舵曲損</p>	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、3人を同乗させ、船首約0.6m、船尾約0.7mの喫水で、大浦港北西方沖を約6.5ノットの速力で手動操舵により南東進中、平成22年10月1日07時49分ごろ、干出岩に乗り揚げた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 2</p> <p>海象：潮汐 低潮時、波高 約1.0m</p>	
その他の事項	船長は、航行予定水域の水路状況を詳細に確認していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、大浦港北西方沖を南東進中、航行予定水域の水路状況を確認していなかったことから、予定針路上の干出岩の存在を知らずに航行し、同干出岩に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、大浦港北西方沖を南東進中、航行予定水域の水路状況を確認していなかったため、予定針路上の干出岩の存在を知らずに航行し、同干出岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	